

平成 25 年 度

香川大学大学院経済学研究科修士課程推薦入学学生募集要項

アドミッション・ポリシー

経済学研究科は、社会科学分野に対する深い関心と洞察をもち、積極的な研究を通して、経済学の諸分野の学術的な発展に寄与する人材を求めています。具体的に述べると（１）高度専門職業人として経済界等で国際的に活躍したい人や地方自治体で公務員をめざす人、（２）企業や地域社会、国際社会といった舞台において、リーダーとして活躍することをめざす人、（３）生涯学習、リカレント教育に対応した幅広い知識を修得したい人、（４）博士後期課程に進学可能な研究能力を修得したい人等です。

社会人の方々の中には職業経験や人生経験の中で様々な問題や疑問に遭遇し、それらを学術的な視点から分析的に捉えなおし、修士論文にまとめてみたいと願っている方がおられると思います。キャリア・アップもかねて、ぜひ来ていただきたいと考えています。

1. 募 集 人 員

専 攻	募 集 人 員
経 済 学 専 攻	若干人

2. 出願資格及び推薦要件

【出願資格】

次の（１）、（２）のいずれかに該当する者です。

- （１）学校教育法第83条第1項に規定する大学を平成25年3月卒業見込みの者
- （２）外国において、学校教育における16年の課程を平成24年4月から平成25年3月までに修了又は修了見込みの者

【推薦要件】

次の（１）、（２）のいずれかに該当する者です。

- （１）上記の出願資格を有し、既に100単位以上を修得し、そのうち60単位程度以上がA（優）以上であり、学部長又は指導教員が推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者
- （２）平成25年3月に学校教育法第89条に規定するいわゆる早期卒業見込みの者

3. 出 願 期 間

平成24年6月4日(月)から6月11日(月)まで。（ただし、土曜日及び日曜日を除く。）

受付時間は、9時から17時までです。

郵送の場合は、6月9日(土)までの消印のあるものは受理します。

4. 出 願 手 続

(1) 出 願 書 類 等

提 出 書 類 等	摘 要
①入 学 願 書	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。
②成 績 証 明 書	出身大学の大学(学部)長が作成し、厳封してください。
③卒 業 見 込 証 明 書	出身大学の大学(学部)長が作成したものとします。
④推 薦 書	本学所定の用紙により学部長又は指導教員が作成し、厳封してください。
⑤志 望 理 由 及 び 研 究 計 画 書	本学所定の用紙に記入してください。
⑥検 定 料	30,000円 入学願書と一連の「振込依頼書(入金票)」及び「領収書」に必要事項を記入の上、平成24年5月28日(月)～6月11日(月)の間に金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)の窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。ただし、上記によりがたい場合は香川大学入試グループへご照会ください。(電話 (087) 832-1182)
⑦受 験 票 ・ 写 真 票	写真票には、出願前6か月以内に撮影した正面、上半身無帽の写真(4cm×3cm)を貼付してください。
⑧受 験 票 送 付 用 封 筒	本学所定の封筒に、志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、350円分の切手を貼付してください。

(2) 出願書類の提出先及び問い合わせ先

〒760-8523 高松市幸町2番1号 香川大学法学部・経済学部学務第二係

TEL (087) 832-1813

5. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、推薦書、志望理由及び研究計画書並びに成績証明書等の提出書類に基づいた口述試験の結果を総合して行います。

6. 口述試験等の日時及び場所

(1) 日 時

平成24年7月4日(水)

時 間	検査内容
13:00～	口述試験

(2) 場 所

香川大学経済学部(高松市幸町2番1号)

(3) 受験上の注意事項

- ①検査当日は、12時30分までに集合してください。
- ②受験に際しては、必ず受験票を持参してください。
- ③試験場へ自動車での入講はできません。

7. 合 格 者 発 表

合格者の発表は、平成24年7月12日(木)午前9時(予定)に経済学部内掲示板に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

また、推薦のあった学部長又は指導教員へは、選抜結果について通知し、本学のホームページ上に合格者受験番号を掲載(10時予定)します。

なお、電話等による可否の問い合わせには応じません。

香川大学URL : <http://www.kagawa-u.ac.jp/>

(注) ホームページ掲載は、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格者発表は、香川大学経済学部内掲示板、合格通知書にて行います。

8. 入 学 手 続

合格者は、平成25年3月26日(火)・27日(水)に、原則として直接来学の上、入学手を完了してください。受付時間は、9時から17時までです。やむを得ず郵送する場合は、「簡易書留・速達」とし、3月27日(水)17時までに教育・学生支援室学務グループへ送付してください。

所定の期間内に入学手を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

また、入学手続書類は平成25年2月中旬頃に送付します。

入学手続に必要なものは、次のとおりです。

- (1) 本学所定の誓約書、保証書 各1部
- (2) その他本研究科に必要な書類
- (3) 納付金

入 学 料	282,000円 (予定)
-------	---------------

授 業 料	前期分	267,900円 (予定)	【注】 1
	(年額)	535,800円 (予定)	

なお、入学時及び在学中に学生納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

【注】 1. 前期分の授業料については、平成25年4月1日から平成25年4月30日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

2. 払込済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ①入学手続を行わなかった場合
- ②入学料を誤って二重に払い込んだ場合

3. 入学手続を完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに申し出て、入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は、平成25年4月1日付で入学したこととなり、授業料の債務(前期分)が発生しますのでご注意ください。

9. 注 意 事 項

- (1) 出願後は、提出書類の変更は認めません。

- (2) 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

※ 上記①又は②に該当される方は、香川大学入試グループ(電話(087)832-1182)へご連絡ください。

10. 平成25年度開講個別演習研究題目及び担当教員

a. 個別演習研究題目（☆については、平成25年度演習生は募集しません。★については、夜間は開講しません。）

演習科目	個別演習研究題目	担当教員名
ミクロ経済学	ゲーム理論と情報の経済学	准教授 天谷研一
マクロ経済学	長期経済成長の研究	准教授 杉本佳亮
経済動学	マクロ経済学の研究	准教授 持田めぐみ
政治経済学☆	資本主義の理論的研究	准教授 沖 公祐
数理経済学	経済理論の数学的分析	教授 ラナデ, RR
一般均衡理論	一般均衡分析の研究	准教授 星野良明
計量経済学	計量経済モデルの推定と検定	教授 久松博之
経済史☆		
日本経済史	近代日本経済史研究	准教授 山本 裕
経済政策	経済政策の日米比較研究	教授 岡田徹太郎
公共経済学	公共部門の経済活動に関する理論的・実証的研究	教授 平井健之
国際経済学	国際貿易・国際金融の理論的・実証的研究	教授 井上貴照
アジア経済論	アジア経済の理論的・実証的研究	教授 姚 峰
財政学	租税論研究	准教授 長山貴之
地方財政論	地方分権研究	准教授 長山貴之
金融論	金融システムの研究	准教授 藤原敦志
金融政策	マクロ金融経済の研究	教授 藤井宏史
統計学	統計理論の応用	教授 大野拓行
経済統計学	日中経済の統計分析	教授 姚 峰
経済モデル解析	日本の計量モデルの作成	教授 横山佳充
社会政策	社会政策・労働問題の研究	教授 佐藤 忍
福祉経済論	社会保障及び社会福祉に関する研究	教授 小松秀和
情報管理	情報管理システムの構築と利用	教授 本田道夫
経営史	戦後日本の企業経営に関する歴史研究	准教授 島西智輝
経営学史	ドイツ経営経済学の歴史と経営学方法論に関する研究	准教授 柴田 明
経営財務論	企業の財務活動に関する理論研究	准教授 嘉本慎介
経営戦略論	日本企業の経営戦略に関する研究	准教授 犬飼知徳
経営組織論★	組織マネジメントに関する研究	准教授 松岡久美
組織間関係論	企業間及び組織内における関係性に関する研究	准教授 神吉直人
保険論	私保険の研究	教授 安井敏晃
マーケティング論	サービス・マーケティングに関する理論的・実証的研究	教授 藤村和宏
流通システム論☆	流通・商業に関する研究	准教授 小宮一高
商品学	商品学の視点から見た環境ならびに地域に関する実証的研究	教授 古川尚幸
地域活性化論	地域活性化研究	教授 原 直行
財務会計論	持続可能性会計に関する研究	教授 朴 恩芝
監査論	監査論研究	教授 井上善弘
管理会計論	管理会計の理論と実践に関する研究	准教授 朴 鏡杓
原価計算論	マネジメントコントロールと原価計算	准教授 宮脇秀貴
政治システム論	政治システム研究	教授 大賀睦夫
アジア研究☆	アジアおよびコリアンの研究	准教授 宮島美花
国際社会学	現代ヨーロッパ社会と移住研究	准教授 園部裕子
地域文化論	観光地理学・地域文化論	教授 稲田道彦
西洋思想	古代ギリシャ社会思想の研究	教授 斉藤和也
ドイツ文化論	ドイツ三月革命期の文化と社会	教授 高木文夫
言語思想史	言語から見た近代化の研究	准教授 金澤忠信
台湾文化論	戦後台湾の文化政策と文化	教授 高橋明郎
中国文化論	中国及び海外の中国系社会と文化についての研究	教授 王 維
観光学	観光と地域の総体的研究	准教授 金 徳謙
まちづくり論	まちづくりにおける価値創造研究	准教授 西成典久
応用言語学	異文化間コミュニケーション研究	教授 水野康一
記述言語学	フィールドワークによる言語記述研究	准教授 品川大輔

b. 経済学研究科授業科目一覧

教育分野	授 業 科 目
理論経済学	ミクロ経済学特殊講義 応用ミクロ経済学特殊講義 マクロ経済学特殊講義 経済動学特殊講義 政治経済学特殊講義 数理経済学特殊講義 市場均衡理論特殊講義
経 済 史	経済史特殊講義 日本経済史特殊講義 西洋経済史特殊講義
経 済 政 策	経済政策特殊講義 公共経済学特殊講義 国際経済学特殊講義 アジア経済論特殊講義
財 政 学	財政学特殊講義 地方財政論特殊講義
金 融 論	金融論特殊講義 金融政策特殊講義
統 計 学	統計学特殊講義 計量経済学特殊講義 経済モデル解析特殊講義 経済統計学特殊講義
社 会 政 策	社会政策特殊講義 労働経済学特殊講義 福祉経済論特殊講義 医療経済学特殊講義
情 報 科 学	情報科学特殊講義 情報システム特殊講義
経 営 学	経営史特殊講義 人事労務管理論特殊講義 経営財務論特殊講義 組織戦略論特殊講義 経営戦略論特殊講義 経営組織論特殊講義 経営学方法論特殊講義 企業システム特殊講義 経営学史特殊講義

教育分野	授 業 科 目
商 学	保険論特殊講義 マーケティング論特殊講義 国際マーケティング論特殊講義 商品学特殊講義 環境システム特殊講義 流通システム論特殊講義 地域活性化論特殊講義
会 計 学	会計学原理特殊講義 財務会計論特殊講義 監査論特殊講義 管理会計論特殊講義 原価計算論特殊講義
社会文化論	アメリカ社会論特殊講義 アジア社会論特殊講義 国際移動論特殊講義 瀬戸内風土論特殊講義 社会思想特殊講義 地域文化論特殊講義 言語思想史特殊講義 ドイツ文化論特殊講義 台湾論特殊講義 中国文化論特殊講義 観光者行動調査論特殊講義 まちづくり論特殊講義
言 語 科 学	国際コミュニケーション論特殊講義 記述言語学特殊講義
	外国書講読 特別講義 個別演習Ⅰ・Ⅱ 個別演習(副)